

シネラ・ニュース
August 2022



あひるを飼う家



恋恋風塵



超級大国民



童年往事



上海假期

通常上映 総合図書館収蔵の台湾映画の特集

台湾映画特集

講演会
上映

2022年福岡ユネスコ文化講演会 映画創作と自分革命

～創作の内的対話力の可能性について

講師：石井岳龍 (映画監督、神戸芸術工科大学教授)

上映作品：鏡心・完全版



新型コロナウイルス感染防止のため
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

通常上映

台湾映画特集

総合図書館収蔵の
台湾映画の特集

会期：8月3日(水)～26日(金)※休館日・休映日除く
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。
(手帳や保険証などの提示が必要です。)
※「わたくすクラブ」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

4 **17** **11:00** **14:00** **あひるを飼う家**
Beautiful Duckling

監督：リー・シン
出演：タン・パオユン/グ・シャンチン



リン家は政府からあひるの品種改良を請け負っていた。美しい娘のシャオユエが父の仕事を手伝っていたが、二人は実の親子ではなかった。そのためリンは秘密を知る彼女の実の兄のツァウフウに、いつもお金をせびられていた。農業の生産改善と増産による経済振興を目指す政府の方針に合致した作品だが、本作は多くの観客に愛される、リー・シン監督の代表作となった。

1965年/35ミリ/カラー/111分/台湾 日本語字幕付き

3 **14** **11:00** **14:00** **我らの隣人**
Our Neighbor

監督：リー・シン
出演：リー・カンジャン/ラウ・ワンリン



シー・サンタイは都会の片隅で、運転手のチェンをはじめ大陸からの移民たちと一緒に暮らしていた。ある日彼は孤児になったシャオチューの世話をするようになる。貧しい外省人たちの気持ちを代弁するような作品で、日本映画の人情物語のような味わいがある。リー・シン監督は本作で注目され、台湾最大の映画会社である中央電影公司に招かれた。

1963年/35ミリ/モノクロ/92分/台湾 日本語字幕付き

7 **18** **11:00** **14:00** **冬冬の夏休み**
A Summer at Grandpa's

監督：ホウ・シャオシェン
出演：ワン・チークアン/リー・シュジェン



夏休み。小学校を卒業したトントン(冬冬)は、妹のティンティンと田舎にある母の実家にやって来る。トントンはすぐに近所の子どもたちと仲良くなり、川遊びなどをして遊ぶ。しかしティンティンは兄について行くことができず一人遊ぶ。田舎の町だが、叔父が結婚したり、強盗事件が起きたりして、トントンは大人の社会を覗き見るのだった。

映画の舞台は台北から100キロほど南の銅羅という町で、原作者チュウ・ティエンウェンの祖父の家で撮影された。ホウ・シャオシェン監督の初期の傑作の一本。世界中の映画祭で上映され、特に日本では、夏休みの日常の一コマの愛すべき描写等、多くのファンに愛されている作品。またエドワード・ヤン監督がトントンの父親役で出演している。

1984年/35ミリ/カラー/98分/台湾 日本語字幕付き

3 **17** **14:00** **11:00** **海辺の女たち**
Oyster Girl

監督：リー・シン/リー・チャ
出演：ワン・モーチョウ/ウー・チャチャー



牡蠣の養殖をするランには恋人がおり、二人は結婚の許可をもらうためにランの父親に会いに行く。大酒飲みの父親は大金の結納金を要求。お金を稼ぐために恋人は遠洋漁業の船に乗る。1960年代は台湾映画の黄金期であり、その中で特徴となった「健康写実主義」の代表的作品。健康な男女が農業や漁業の振興を行うという一種の国策映画ではあるが、シンプルな恋愛ドラマは時代を超えて楽しめる。

1963年/35ミリ/カラー/98分/台湾 日本語・英語字幕付き

4 **14** **14:00** **11:00** **路**
The Road

監督：リー・シン
出演：ワン・ロン/ツイ・フーション



道路工事をするクオには自慢の息子のチャンインがいた。チャンインは近所に住むシューチェンという女性を好きになるが、彼女が同居するソンはみんなの嫌われ者だった。台湾省公路局(日本の国土交通省にあたる)の協力で製作された一種の国策映画。ただし労働賛美というより、下町人情物語の色彩が強い。台湾に渡って来た外省人が助け合いながら生きる姿が暖かく描かれる。

1967年/35ミリ/カラー/96分/台湾 日本語字幕付き

5 **20** **11:00** **14:00** **原郷人**
My Native Land

監督：リー・シン
出演：チン・ハン/ジョアン・リン



1940年。青年リーホーはピンメイと駆け落ちし、満州で暮らす。作家を目指すリーホーは父の死後台湾に戻るのだが、結核になってしまう。台湾を代表する作家ジョン・リーホーの生涯を映画化したもの。彼は生前ほとんど無名であり、死後名声が高まった。本作は没後20年を契機として製作された。

1980年/35ミリ/カラー/112分/台湾 日本語・英語字幕付き

5 **19** **14:00** **11:00** **光陰的故事**
In Our Time

監督：タオ・ドゥーツェン/エドワード・ヤン/クー・イーチェン/チャン・イー
出演：ラン・シヨウウェン/シー・アンニ



「恐竜くん」「希望」「跳ねるカエル」「名を名乗れ」の4つの短編で構成されたオムニバス映画。それぞれ若い監督4名が起用されており、彼らはこの後台湾ニューウェーブの中心的存在となっていくことから、本作は台湾ニューウェーブの始まりとして記念碑的の意味を持つ。台湾映画の巨匠となるエドワード・ヤン監督のデビュー作としての意味も大きい。

1982年/35ミリ/カラー/109分/台湾 日本語字幕付き

6 **19** **11:00** **14:00** **天下第一**
All the King's Men

監督：キン・フー
出演：ティエン・ファン/ツァオ・ゲン



後周の皇帝は持病持ちだが、医者言葉に耳を貸さず、リー道士の作る怪しげな薬を飲んで健康を害していた。心配する宰相は隣国に住む天下第一の名医を連れてくるように部下に命じるのだが…。堂々巡りの迷路のような不思議な物語。台湾の巨匠キン・フーによる時代劇だが、スタッフには台湾ニューウェーブの監督たちが多数参加している。

1983年/35ミリ/カラー/101分/台湾 日本語字幕付き

6 **18** **14:00** **11:00** **老年萬歳**
Warmth of the Old House

監督：チャン・ペイチェン
出演：グ・シャンチン/ツァオ・ゲン



台湾の花蓮にある老人ホーム。ポンは孫に会いに行くのだが、なかなか会えない。同室のワンは腹痛の持病持ち。食事委員のファンは耳の遠い大工と同室で、大工の作業の音にうんざり。ある日大工がみんなの位牌を作っていることが分かり、大騒ぎとなる。個性豊かな老人たちの日常をコミカルに描いた作品で、敬老の意味を込めて製作された作品。

1984年/35ミリ/カラー/108分/台湾 日本語・英語字幕付き

7日 14:00
24水 14:00

童年往事 The Time to Live and the Time To Die



監督:ホウ・シャオシェン
出演:ユウ・アンシェン/シン・シューフェン

少年アハの一家は47年に台湾にやって来た外省人。高雄郊外の日本屋敷に落ち着いた一家は、台湾社会に馴染もうとする。いつも故郷に帰りがたがる祖母。アハは友人たちと遊びながら台湾に溶け込んでいく。「童年往事」とは子供の頃の思い出という意味で、ホウ・シャオシェン監督の自伝的色彩が濃い作品。

1985年/35ミリ/カラー/137分/台湾 日本語字幕付き

10水 14:00
20土 11:00

ある女の一生 Kuei-Mei, A Woman



監督:チャン・イー
出演:ヤン・ホエイシャン/リー・リーチュン

クイメイはホウと結婚する。ホウはギャンブル好きであり、双子も生まれたため二人は日本へ働きにやって来る。日本でお金を貯めた二人は台湾で食堂を経営する。本作は台湾の金馬獎で最優秀作品賞や最優秀監督賞などを受賞した。主人公の半生が台湾の現代史と重なるように描かれており、彼女の苦勞を静かに映画は描いていく。

1985年/35ミリ/カラー/121分/台湾 日本語・英語字幕付き

12金 11:00
21日 14:00

恋恋風塵 Dust in the Wind



監督:ホウ・シャオシェン
出演:ワン・ジンウェン/シン・シューフェン

1960年代。炭鉱の町ジウフェン。中学3年の少年ワンと、中学2年の少女ホンは幼馴染で兄妹のようにいつも一緒だった。ワンは台北で働くようになり、1年遅れでホンも台北で働き始める。青春のほろ苦い恋愛が切ないほどに溢れるホウ・シャオシェン監督の傑作。ヒロインのシン・シューフェンは監督がスカウトした女優で、本作で初の主役を見事にこなした。

1987年/35ミリ/カラー/110分/台湾 日本語字幕付き

12金 14:00
21日 11:00

村と爆弾 Strawman



監督:ワン・トン
出演:チャン・ポーチョウ/ジョ・シェンリー

1944年。台湾南部の村。ある日陳兄弟の畑に巨大な不発弾が落ちる。村の巡査は軍から報奨金が出ると言いつつ陳兄弟に不発弾を町の駐在所まで運ばせる。日本人の命令に右往左往する植民地時代の台湾人を風刺したコメディ映画。日本人と台湾人の関係が単に善悪に区別されていない事も本作の特徴である。

1987年/35ミリ/カラー/97分/台湾 日本語字幕付き

11木・祝 11:00
26金 14:00

墓あらし/笛吹きの子 The Digger/ The Suona Player



監督:ホー・ピン/リー・ダウミン
出演:ルー・シャオフェン/サイモン・ヤム

「墓あらし」は、墓あらしをして生活する4人組の物語。「笛吹きの子」は、チャルメラ吹きの男が好きな女性と結婚をするまでの物語。映画の原作は同じ作家で、二人の監督が映画化したオムニバス映画。作風は監督の資質が良く表れており、まったく異なるタッチの物語となっている。

1988年/35ミリ/カラー/75分/台湾 日本語字幕付き

11木・祝 14:00
25木 11:00

超級大国民 Super Citizen Ko



監督:ワン・レン
出演:リン・ヤン/スー・ミンミン

50年代の台湾。コー・イーションは進歩的な読書会に参加して逮捕され、16年の刑を受ける。コーは取り調べで読書会のリーダーの名前を漏らし、リーダーのチェンに死刑となる。釈放後コーは自責の念にかられチェンの墓を探す旅に出る。国民党が共産思想の持ち主を摘発した、いわゆる「白色テロ」を描いた作品。主人公の悔恨の情が美しい映像で描かれている傑作。

1995年/35ミリ/カラー/120分/台湾 日本語・英語字幕付き

13土 11:00
25木 14:00

推手 Pushing Hands



監督:リー・アン
出演:ロン・ション/ライ・ウオン

太極拳の名手チューは引退して、アメリカに住む息子アレックスの元にやって来る。アレックスにはアメリカ人の妻と息子がいた。妻のマーサは英語が話せないチューにいらいらして、胃潰瘍になってしまう。台湾出身で世界的監督となったリー・アン監督のデビュー作。異文化の中で心のバランスをとるやり方を太極拳に例えているところが面白い。

1991年/35ミリ/カラー/107分/台湾 日本語・英語字幕付き

13土 14:00
26金 11:00

上海假期 My American Grandson



監督:アン・ホイ
出演:ホアン・クンシェン/ウー・マー

退職して上海の共同住宅で暮らすクーさんの元に、アメリカで暮らす息子夫婦の子どものミンがやって来る。両親が旅行をする間だけクーさんが預かったのだが、ミンは英語しか話せずクーさんとまったく話が通じない。中国文化とアメリカ文化、祖父と孫の文化の摩擦がテーマだが、二人が衝突しながら次第に心を通わせる優しい作品である。

1991年/35ミリ/カラー/95分/台湾=香港 日本語・英語字幕付き

講演

8月27日【土】(13:30~15:00)

2022年福岡ユネスコ文化講演会

映画創作と自分革命 ~創作の内的対話力の可能性について

講師:石井岳龍(映画監督、神戸芸術工科大学教授)



<プロフィール>
1957年福岡市生まれ。1976年、日本大学芸術学部入学直後に、8mm映画デビュー作『高校大パニック』を撮り注目を浴びる。長編『狂い咲きサンダーロード』(1980)により日本インディーズ界の旗手と目されるようになる。監督作『逆噴射家族』(小林よしのり原案)や『ユメノ銀河』(夢野久作原作)など福岡ゆかりの作品により海外でも高い評価を受ける。2006年から神戸芸術工科大学教授を務める。主な監督作品に全編福岡撮影の『水の中の八月』『五条霊戦記』『蜜のあわれ』『バンク侍、斬られて候』等

観覧料:1,000円(一般) 500円(学生・留学生)

※講演会と映画上映はセット料金で、講演のみ、上映のみでも同じ金額。
※高齢者・障がい者割引なし。 ※学生・留学生の方は身分証の提示が必要です。

申込方法:催し名(「石井岳龍講演会」)、氏名(参加者全員)、連絡先FAXまたはメールアドレス等を明記の上、メールかFAXでお申し込み下さい。

メールアドレス:fuunesco2014@gmail.com、FAX:092-733-1291

コロナウイルス感染予防のため、申込先着100名様とさせていただきます。

問合せ先:一般財団法人 福岡ユネスコ協会 電話:092-715-8768(平日10~17時)

上映

(15:15~16:16頃)

鏡心 完全版



監督:石井岳龍
出演:市川実和子
町田康

心の拠り所を失い不安や迷いを抱えた一人の女優(市川実和子)が、南国バリで体験する美しく不可思議な幻想的な世界を綴っていく。瞬間瞬間に姿を変える東京の繁華街やバリ島の大自然の息吹をノースライトで生々しく捉えた映像は、強い詩的な力を持って観る者の内面を刺戟する。自ら製作・監督・脚本・撮影をこなし、新たな映画表現に挑んだ意欲作。

2005年/デジタル/カラー/61分

主催:一般財団法人 福岡ユネスコ協会
共催:福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会



1月	休館日
2火	休映日
3水	11:00 我らの隣人 14:00 海辺の女たち
4木	11:00 あひるを飼う家 14:00 路
5金	11:00 原郷人 14:00 光陰的故事
6土	11:00 天下第一 14:00 老年萬歳
7日	11:00 冬冬の夏休み 14:00 童年往事
8月	休館日
9火	休映日
10水	14:00 ある女の一生
11木祝	11:00 臺あらし／笛吹きの恋 14:00 超級大国民
12金	11:00 恋恋風塵 14:00 村と爆弾
13土	11:00 推手 14:00 上海假期
14日	11:00 路 14:00 我らの隣人
15月	休館日
16火	休映日
17水	11:00 海辺の女たち 14:00 あひるを飼う家
18木	11:00 老年萬歳 14:00 冬冬の夏休み
19金	11:00 光陰的故事 14:00 天下第一
20土	11:00 ある女の一生 14:00 原郷人
21日	11:00 村と爆弾 14:00 恋恋風塵
22月	休館日
23火	休映日
24水	14:00 童年往事
25木	11:00 超級大国民 14:00 推手
26金	11:00 上海假期 14:00 臺あらし／笛吹きの恋
27土	石井岳龍監督による講演会と「鏡心」上映
28日	自主上映／福岡映画サークル協議会例会
29月	休館日
30火	休映日
31水	休館日

台
湾
映
画
特
集

INFORMATION

■アジア映画の貸し出しについて

福岡市総合図書館は多くのアジア映画を保存するフィルムアーカイブとして活動しています。昨年度より、アジア映画の収蔵作品からブルーレイ・ディスクを作成し、自主上映を行う方に有償での貸し出しを行っています。令和4年6月現在、アジアフォーカス・福岡国際映画祭受賞作を中心とした下記7作品が貸出可能となっています。

「私はガンディーを殺していない」
2005年／インド映画／ジャヌ・バルリア監督

「虹の兵士たち」
2008年／インドネシア映画／リリ・リザ監督

「夢追いかけて」
2009年／インドネシア映画／リリ・リザ監督

「トゥルー・ヌーン」
2009年／タジキスタン映画／ノシル・サイドフ監督

「ジャングル・スクール」
2013年／インドネシア映画／リリ・リザ監督

「ヴィレッジ・オブ・ホープ」
2013年／タイ映画／ブンソン・ナークパー監督

「土曜の午後」
2019年／バングラデシュ映画／モストファ・サルワル・ファルキ監督

※貸出の詳細については総合図書館ホームページ内「映画上映貸出」をご覧になるか、総合図書館文学・映像課映像活用係（電話：092-852-0608）までお問い合わせ下さい。



私はガンディーを殺していない

自主上映のお知らせ

■福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「ブータン山の教室」
(2019年／110分／パオ・チョニン・ドルジ監督)

日時：8月28日(日) ①11:00 ②14:00

料金：一般当日 1,400円(前売り1,200円)
シニア当日 1,100円

主催：福岡映画サークル協議会 TEL:092-781-2817
※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ
うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス
当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 市営地下鉄
 - 西新駅または藤崎駅下車徒歩15分
 - 西鉄バス
 - 博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分
 - 藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
- ◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。